

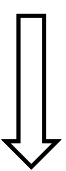
第4号様式

指定管理業務評価表

施設名	富士見市立中央図書館・富士見市立図書館ふじみ野分館	令和6年度	事業報告
指定管理者名	TRC・キマリ財団グループ		
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日	所管課	教育委員会 生涯学習課

		自己評価…指定管理者 所管評価…市(施設所管課)			
	個別評価項目		自己評価	所管評価	施設所管課評価意見
業務の実施体制	人員体制	安定的な運営の為に人員を配置している。	A	A	
		必要な資格や経験を有する人員が配置されている。	A	A	
		責任者(代理する者)が施設に常駐している。	A	A	
	職員の対応等	仕事内容を十分に把握し、利用者対応を迅速かつ適正に行っている。	A	A	
		利用者の要望や苦情等に対して適切に対応している。	A	A	
		言葉遣い、節度、服装等が適切である。	A	A	
		事業計画に基づき職員研修を計画的に実施している。	A	A	
	法令等の順守	法令、条例等に基づき管理運営を行っている。	A	A	
個人情報保護・情報公開	個人情報保護及び情報公開に関する規定が整備され、適切に対応できる。基本協定書個人情報取扱特記事項を遵守している。	A	A		
安全・緊急対策	緊急時マニュアルの策定とそれぞれに基づく訓練の実施、連絡・対応体制の整備ができています。	A	A		
報告書の提出	定期報告書等を期限内に提出している。	A	A		
業務の内容・水準	維持管理	清掃、警備、衛生管理を適切に行い、利用者が施設を快適に利用できる環境となっている。	A	A	
		施設・設備・図書館システムの保守管理を適切に行い、利用者が安全・快適に施設をようできている。	A	A	
		修繕を適切に実施している。	A	A	
		備品台帳に基づき備品を適切に管理している。	A	A	
		外部委託の内容について、事前に市の承認を受けている。	A	A	
	事業運営	条例等の規定に基づき、開館日時を遵守している。	A	A	
		資料選定・受入業務が適切に行われている。	A	A	
		資料管理業務が適切に行われている。	A	A	
		窓口サービス業務が適切に行われている。	A	A	
		レファレンス業務が適切に行われている。	A	A	
		図書室・公共施設サービスが適切に行われている。	A	A	
		ホームページや広報紙等での広報活動が適切に行われている。	A	A	
		視聴覚ライブラリー業務が適切に行われている。	A	A	
		障がい奉仕業務が適切に行われている。	A	A	
		児童・YA向け事業が適切に行われている。	A	A	
		一般向け事業が適切に行われている。	A	A	
		提案事業が適切に行われ、利用者サービス向上に寄与している。	A	A	
		地域、ボランティア、他機関との連携に努めている。	A	A	
	利用者の要望	利用者の要望等の把握方法及び対応策は適切である。	A	A	
	利用状況	利用者数、貸出点数等は、適切な水準にある。	A	A	
管理記録	業務日誌及び点検、修繕の履歴を適切に記録、整備、保管している。	A	A		
環境配慮	省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進に努めている。	A	A		
収支等	収支状況及び経理事務	収支の状況及び経理の処理が適正である。	A	A	
総合評価			A	A	
成果・課題等	(自己評価)	【成果】 ・ブックスタートについては、4種類から選んでいただけるようにしたことで、必ず2冊選んでいただけるようになった。 ・セカンドブック事業についても、4冊から選んでいただく形をとり、またFormsを活用してのアンケート集計をすることで、先生方の負担を減らすことができた。 ・ZOOMによる対面朗読を開始し、継続して利用いただいている。また宅配サービスについても定期的な利用がある。 ・読書コンクールのPOPについては、年々応募数も増え、クオリティも上がってきている。またポプラ社のコンクールで受賞した作品も数点あった。 ・調べる学習コンクールについては、まだ地域コンクールは開催にいたっていないが、毎年、応募作品も増え、内容も充実してきている。今年度は、全国コンクールにおいて優良賞を受賞した児童がおり、市長への報告会を実施した。 ・託児サービスは、リピーターの利用も多く、順調に推移している。また、時間帯を30分繰り上げたことで、11時30分からの利用もほぼフル稼働する状況となっている。 ・電子書籍については、ライセンス切れになる資料を鑑み選定していく。また、シティプロモーション課から、「ぼくの☆(ほし)をしりませんか」や「富士見お散歩マップ」「ちなみに富士見！」のデータ提供を受け、独自資料としてアップし、ログインなしで閲覧できるようにし、市のアピールに繋がっている。学校向けに読み放題バックの導入も進め、小学校全生徒へのID・PWの付与をしたので、次年度以降の利用増加が図れると考えている。 ・市役所内の各課と連携して展示や講座、イベントの展開ができた。 ・ふじみ野分館では、ふじみ野交流センターを始め、地元保育園・幼稚園・児童館・小学校・中学校・高校と様々なイベント等を通じ、連携を図ることができた。 【課題】 ・国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスを開始したが、利用についてはまだ数える程度なので、周知を図っていく。 ・水子貝塚資料館・難波田城資料館・渋谷定輔を含む郷土資料のデジタル化を進める。 ・近隣の病院や自治体担当課とも連携を図り、プレバパブレママ等に対するサービスを実施していく。 ・全体として、貸出数が伸び悩んでいるため、図書館サービスについて、ホームページ等を活用した周知を図るとともに、アウトリーチサービスを充実させることで、新たな利用者獲得を目指していく。			
	(所管評価)	おおむね協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容で実施ができています。			
託児サービス開始時間を30分早めて利用者の利便性を図る取組みなど、利用者サービスの向上に努めていた。 市内の小中学校や保育園・幼稚園・児童館等と連携して、様々な事業を展開しており、地域との繋がりが形成されている。おはなし会・映画会・各種イベントの開催は、参加者の継続的な利用と幅広い年齢層に向けた図書館の周知にも繋がっている。 また、関係各課と連携した展示、障がい者サービスの充実、公共施設受取りサービスも定着しているが、図書館まで足を運ばなくても利用できるアウトリーチサービスの充実など、さまざまな利用者ニーズの分析・検証が望まれる。 子どもの読書推進については、市内の小学校児童全員にIDとパスワードを付与したことで、電子図書館の有効活用や、子どもが本を身近に感じられるような取組みを講じていた。 中央図書館及びふじみ野分館ともに業務の実施体制、事業の内容と運営、施設の維持管理等について、年間を通して適正に管理運営が行われていると判断し、総合評価はAとする。					

※評価区分

① 個別評価	AA(優良)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準よりも優れた管理運営内容である。 A(良好)＝協定書、仕様書等を遵守し、その水準に沿った管理運営内容である。 B(問題含)＝協定書、仕様書等を遵守しているが、管理運営内容の一部に問題がある。 C(要改善)＝協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善が必要な管理運営内容である。
	
② 総合評価	AA(優良)＝評価表の個別評価がすべてA以上であり、かつAAが過半数である。 A(良好)＝評価表の個別評価がすべてA以上である。(上記以外) B(問題含)＝個別評価すべてB以上あり、Bの割合が1割未満である。 C(要改善)＝上記以外